

平成31年3月期（第201期）第3四半期決算について

2019 年 1 月 31 日

大阪ガス株式会社

1. 経 営 成 績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 決算の概要

当第 3 四半期の売上高は、電力事業で電力販売量が増加したことなどにより、前年同期に比べて増収となりました。経常利益は、ガス事業でのスライド影響^(*)や高気水温によるガス販売量の減少などにより、減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、新規案件取得に伴うのれんの一括償却による一時的な費用 89 億円や災害による損失 20 億円を特別損失に計上したことなどにより、減益となりました。

連結子会社数は、前期末から 14 社増 3 社減の 149 社となりました。また、持分法適用関連会社数は、前期末から 4 社増の 23 社となりました。

(*) 原料価格の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (注)
連 結	9,436 (+ 3.7%) [9,095]	233 (△52.0%) [485]	254 (△49.4%) [503]	52 (△83.6%) [316]
個 別	7,551 (+ 4.2%) [7,243]	△77 (－) [282]	33 (△90.9%) [363]	△2 (－) [278]

(注) 個別財務諸表では「四半期純利益」 [] 内は前年同期実績、() 内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー・ガス」セグメントは、スライド影響や高気水温によるガス販売量の減少などにより、損失が発生しました。「国内エネルギー・電力」のセグメント利益は、電気料金の値下げなどにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、ゴーゴンプロジェクトの LNG 販売量の増加などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、前年同期並みとなりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント損益 (注)
国内エネルギー・ガス	6,874 (+ 0.6%) [6,834]	△8 (－) [246]
国内エネルギー・電力	1,314 (+21.7%) [1,080]	52 (△60.7%) [132]
海外エネルギー	270 (+75.0%) [154]	77 (－) [△19]
ライフ&ビジネス ソリューション	1,495 (+ 4.2%) [1,434]	120 (△ 5.9%) [128]

(注) セグメント損益：営業損益＋持分法投資損益 [] 内は前年同期実績、() 内は対前年同期増減率

(3) 個別ガス販売実績

大阪ガス個別のガス販売実績[45MJ/m³]は前年同期を下回りました。家庭用のガス販売量は、他社へのスイッチングや気水温が高く推移したことなどにより前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、他社へのスイッチングや特定のお客さま設備の稼働減などにより前年同期を下回りました。

ガス販売量（百万・）	5,576（△7.2%）
家庭用	1,105（△13.4%）
業務用等	4,471（△5.5%）
ガス供給件数（千件）	5,626（△6.7%）

（）内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

電力販売量（百万kWh）	8,502（+10.0%）
小売	2,299（+54.4%）
卸等	6,203（△0.6%）
低圧電気供給件数（千件）	857（+57.3%）

（）内は対前年同期増減率

2. 当期（平成31年3月期）の業績予想

最近の原料価格の動向などを踏まえた結果、平成31年3月期の業績予想に変動が生じることになったため、連結及び個別の業績予想を修正します。

【今回業績予想】

[単位：億円]

	連 結	個 別
売上高	13,810（+6.5%）	11,115（+6.9%）
営業利益	630（△19.4%）	270（△43.4%）
経常利益	615（△20.2%）	380（△34.7%）
親会社株主に帰属する 当期純利益（注）	305（△19.2%）	270（△38.7%）

（注）個別財務諸表では「当期純利益」（）内は対前年同期増減率

（参考）今回業績予想における原油価格・為替レート的前提

	第3四半期累計実績	第4四半期予想	年間平均
原油価格（全日本C I F 価格）ドル/バレル	75.1	65.0	72.7
為替レート（T T M）円/ドル	111.1	110.0	110.9

【前回業績予想（2018年10月30日公表）】

[単位：億円]

	連 結	個 別
売上高	14,000（+8.0%）	11,300（+8.7%）
営業利益	590（△24.5%）	205（△57.0%）
経常利益	560（△27.4%）	295（△49.3%）
親会社株主に帰属する 当期純利益（注）	360（△4.6%）	230（△47.8%）

（注）個別財務諸表では「当期純利益」（）内は対前年同期増減率

（参考）前回業績予想における原油価格・為替レート的前提（2018年10月～2019年3月）

原油価格（全日本C I F 価格）：80ドル/バレル・為替レート（T T M）：110円/ドル

以上